

## 「熊日戦後75年 くまもと戦争遺産をめぐる旅」 実施要項(案)

1 事業名「熊日戦後75年企画 くまもと戦争遺産をめぐる旅」  
～事前学習会と戦跡見学会で、熊本の戦争の実相を学び、平和を考えるバスツアー～

### 2 趣 旨

先の大戦から戦後75年節目の年を迎えるにあたり、県内各地に残されている戦争の記憶をつたえる戦争遺産をめぐる、「戦禍の記憶」を振り返り、「平和の大切さ」を考える機会とする。また、熊本に戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと」設立に向けて県民啓発の場とし、新たな観光視点である「記憶の遺産」を継承する取り組みの機会とする。

3 主催等 熊本日日新聞社、ピースくまもと設立準備会事務局との共催 ※7/20承認済  
○熊日事業局：社告、事前セミナー会場確保、各見学場所等への依頼ほか  
○ピースくまもと設立準備会事務局：各見学場所等への内諾、見学会案内、証言者確保、事前セミナーの講演・講師(高谷担当)ほか  
○旅のよろこび社：参加者募集、バス手配・添乗、事業の収支ほか

4 日 時 ○第1回 9月26日(土)・27日(日)  
○第2回 10月10日(土)・11日(日)  
事前学習会は、ともに午後2時～4時半頃  
見学会は、ともに8時集合8時半発～16時半頃帰着 ※小雨決行



荒尾二造変電所跡(荒尾市所有)

### 5 見学会当日日程

「軍都熊本の大江地区と  
近代化遺産荒尾二造・平和資料館をめぐる！」

第1回9月27日(日)、第2回10月11日(日)

- [S]熊本市民会館前集合(8:30)
- ①熊本市民会館前発(8:40) →→
- ②熊本空襲慰霊碑(大甲橋際・8:50～9:10) →
- ③大江地区戦跡「歩兵第十三聯隊食堂」(熊本学園大学内で見学は外観のみ・9:20～9:50) →→ 徒歩移動
- ④歩兵第十三聯隊正門跡・戦勝記念碑(KKT横・9:50～10:20) →→
- ⑤荒尾方面への移動・昼食・買物等
- 荒尾市「ホテル ヴェルデ」にて(昼食ランチ・買物・休息11:40～12:40)
- ⑥東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所平和資料館見学(13:00～13:30) →→
- ⑦同所 現地見学「変電所跡(14:00～14:30・荒尾市了解)、火薬庫、検査掛棟分析室、工事場建物、廃液路 他」(13:30～15:00) →→
- [G]熊本市民会館着(16:30頃)

### 6 事前セミナー日程等 第1回9月26日(土)、第2回10月10日(土)

- (1) 時間、会場等 ○熊本日日新聞社本社会議室(熊本市中央区世安町172)  
○受付開始 1:30  
○学習会 2:00～3:30頃
- (2) 内容 「熊日戦後75年 くまもと戦争遺産をめぐる旅」について  
熊本の戦争遺産、軍都熊本、空襲下の熊本、近代化遺産の光と陰、熊本を映した海兵隊フィルム 他
- (3) 講師 ピースくまもと設立準備会事務局 事務局長 高谷和生

7 参加者 各回とも24名  
※コロナ感染予防措置等から、大型バス1台の定員の半数。2名座席に1名乗車

8 参加費 支払い実額 9,750円(総額15,000円・支援額5,250円)  
※「GO TO トラベル」事業支援対象。2,000円の地域共通クーポン券予定

9 募 集 熊日社告。旅のよろこび社で募集。参加者のへの詳細チラシ等の準備説明

### 10 事業計画・概要・事業評価 他

- (1) 関係者  
○熊本日日新聞社事業局：福田寿生事業部長・361-3383  
○旅のよろこび株式会社：宮川和夫代表・345-0811
- (2) 今回の見学会では、「戦争遺産フォーラムくまもと」参加団体である、荒尾二造市民の会

(荒尾二造現地見学)の協力を得る。また、現地見学では本団体による「戦跡平和ガイド」活動を行う。案内及び順路・時間配分等を考慮しコース等も担当いただく。各詳細・見学会資料等は別途作成

(3) 事業収支は旅のよろこびの宮川さん担当で、参加費で全てを充当する。支出内訳は、保険、資料代、入場料(200円)、昼食ランチ代、会場使用料、二団体へのガイド謝金、証言者謝金、事前学習会担当者謝金ほか

(4) 事業評価

本事業に関しては、観光学の視点から東海大学熊本キャンパス経営学部観光ビジネス科高野誠二准教授に、過去2回に引き続き指導助言・評価を仰ぐ。昨年度までの調査項目を整理し、感想アンケートと合わせてA4版両面のアンケートを作成し、モニター調査も実施する。

(5) 見学先連絡・承諾等

- 熊本学園大学総務課(096-364-5161)
- KKTくまもと県民テレビ総務部(096-363-6111)
- 荒尾市総務部文化企画課世界遺産・文化交流室係(0968-63-1274)
- 県立岱志高等学校(0968-63-0384)
- ホテル「ヴェルデ」(0968-66-3939)
- 第一紡績株式会社管理部職能課(0968-62-3520)



□熊本空襲慰霊碑  
(大甲橋横)  
□昭和20年8月10日の空襲写真: 熊本市立商工学校



□歩兵第十三聯隊食堂・酒保所  
(熊本学園大学内)  
□歩兵第十三聯隊正門  
(KKTくまもと県民テレビ内)



□荒尾二造大型火薬庫  
□荒尾二造検査掛棟「分析室」  
(県立岱志高校内)



問い合わせ先・連絡先  
ピースくまもと設立準備会 事務局 高谷 和生  
自宅/〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5  
個人携帯 090-1513-5528  
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp  
<https://kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>



# 「熊日戦後75年 くまもと戦争遺産をめぐる旅」 コーディネート（案）

ピースくまもと設立準備会 事務局 高谷和生

## 1 「熊本の戦争の歴史とその遺産に学ぶ！」ピースくまもと3本柱の二項目

- (1) バスツアー事業への基本認識  
熊本に、戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと（仮）」設立に向けて県民啓発の場とする。また、新たな観光視点である「記憶の遺産を継承する“ダークツーリズム”観光」の具体的な認識や取り組みの機会とする。
  - ② 県内の戦争遺産（戦争遺跡や戦時資料、地域づくり）の情報発信の場
  - ③ 貴重な戦争体験「記憶の遺産」に学び、新たな観光の視点を活かした戦争遺産観光ガイドの場
- (2) コーディネート視点 ……世代を超えた場の共有と共感、体験「遺跡・実物に触れる」
- (3) 見学会資料 ……当日日程表（タイムスケジュール表）  
リーフレット・MAP・資料館案内7種（くまもと戦争遺産ガイドマップ、軍都熊本の残像、M76焼夷弾と熊本空襲、空襲下の熊本、荒尾二造、荒尾二造ウォーキングマップ、平和資料館展示案内冊子）

## 2 各戦争遺跡等での認識、確認したい事

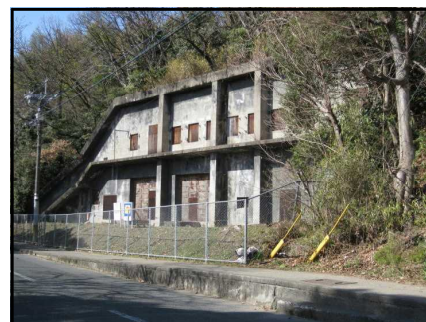
- (1) 熊本空襲慰霊碑 慰霊碑銘板と写真で見る被災状況
- (2) 大江地区戦跡「熊本学園大学内十三聯隊食堂、正門跡」 ※皇威無窮碑見学は時間調整  
軍都熊本を象徴する唯一の建物、約90年間利用の変遷、平成28年熊本地震被災後の修復様子、学園大学学生の近代化遺産（戦争遺産）への認識、新たな学園大学での平和学  
熊本県民テレビ・MJRでの民間保存の経緯
- (3) 東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所平和資料館  
荒尾二造に関する民間ガイド施設、平和への情報発信、平和の証言集
- (4) 同現地「変電所跡、火薬庫、検査掛棟分析室、工事場建物、廃液路」他  
地域に残された戦争遺跡・遺構の記録と保存、戦争遺産を活用した地域づくり

## 3 戦争証言者（DVDも含め）・証言集と継承していきたい事

- (1) 熊本空襲…赤木さん空襲証言DVD（Yahoo Japan作成）
- (2) 熊本学園大学「十三聯隊食堂・正門跡」 ……活字証言の語り・当時写真資料解説
- (3) 荒尾二造「吉田洋一さん」…元従業員、戦時体験、地域の変容、アイデンティティ  
荒尾二造証言集『70年目のよみがえる青春 荒尾二造』 ……活字証言の語り

## 4 その他 評価等

- (1) 記憶の継承（ダークツーリズム）での評価
  - 見学場面ごとの感想・気づき（見学者をセレクト）  
「聞き取り調査票」モニター調査者  
……東海大学平野准教授
  - 参加者の意識（参加前と見学後の変容 等）  
「参加者アンケート」 ※項目設置と自由記述
  - 帰路バス内での参加者の感想発表  
「記録」とまとめ
  - 遺跡・証言での理解や感じ取れないこと、わからないこと
- (2) 観光事業としての評価
  - 熊日社告、紙面広告等でのPR 新聞記事による紹介  
募集推移 事業採算
  - 「ピースくまもと」での事業展開の見通し、可能性



荒尾市所有の「荒尾二造変電所跡」

- 事前セミナー (1) 日時・日程等 第1回9月26日(土)、第2回10月10日(土)  
○受付開始 1:30 ○講演 2:00~3:30頃  
(2) 会場等 両日ともに  
○熊本日日新聞社本社 2階会議室  
熊本市中央区世安町172

## 「熊日戦後75年 くまもと戦争遺産をめぐる旅」セミナー (案)

ピースくまもと設立準備会 事務局 高谷和生

### 1 はじめに ～「熊日戦後75年 くまもと戦争遺産をめぐる旅」～

### 2 熊本の戦争遺跡・遺産 MAP『くまもと戦争遺産ガイドマップ』

#### (1) 戦争遺跡とは

- 全国の戦争遺跡は「約50,000」件、指定登録は「305」件 2020年8月現在
- 熊本県内の太平洋戦争期の戦争遺跡総数は、多数の特殊地下壕を含めた「723件」  
『くまもとの戦争遺産』内の一覧表には「224件」を精査し記載
- 熊本県内の指定登録文化財は国148件、県383件、市町村3,382件、国登録文化財156件の計2,382件。そのなかで近現代戦争遺跡の指定登録は次の通り ※2019年2月末現在

#### (2) 西南戦争期の指定等

西南戦争遺跡群(国指定、熊本市・玉東町)、明德官軍墓地(熊本市)、七本官軍墓地(熊本市)、花崗山陸軍埋葬地(熊本市)、旧輜重兵六聯隊衛兵所(熊本市)、有栖川の宮御督戦の地(玉東町)、篠原国幹戦傷の地(玉東町)、城の原官軍墓地(南関町)、肥猪町官軍墓地(南関町)、陣内官軍墓地(水俣市)、下岩官軍墓地(和水町)、高瀬官軍墓地(玉名市)、田浦官軍墓地(芦北町)、峰崎官軍墓地(芦北町)の計14件

#### (3) 太平洋戦争期の指定等

「花房飛行場給水塔」(陸軍菊池飛行場高架水槽・菊池市指定有形文化財)、「永山の掩体壕」(陸軍人吉秘匿飛行場木製有蓋掩体壕・球磨郡あさぎり町登録文化財建造物)の2件。  
また、合志市の「黒石原飛行場奉安殿」は、保存修復事業を進めており、完了後に合志市指定文化財となる予定である。

#### (4) 熊本の戦争の歴史をたどる ～熊本に残された戦争の傷跡「七大特徴」～

- ①軍都熊本市の軍事施設 ～熊本城から東部の大江・渡鹿地区への軍施設の移転～
- ②九州で三番目に多い陸海軍飛行場 ～本土決戦に向け、地下にもぐった飛行場施設～
- ③東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所 ～軍直営で石炭を原料とした黄色火薬の生産～
- ④三菱重工業熊本航空機製作所と学校・地下工場 ～陸軍四式重爆撃機「飛龍」の生産～
- ⑤本土決戦の為に天草地区の砲台、震洋等の特攻艇基地と人吉地区の地下工場・地下壕群
- ⑥県内各地に残る空襲・戦災の「被害の歴史」
- ⑦朝鮮人や中国人、連合軍俘虜労働の「加害の歴史」

### 3 軍都熊本の残像 啓発リーフレット『軍都熊本の残像』

#### (1) 軍都熊本の残像

#### (2) 熊本城内の戦争遺跡・記念碑

#### (3) 清水台地区

熊本陸軍幼年学校

#### (4) 大江・渡鹿地区

歩兵第十三聯隊

## 4 空襲下の熊本

啓発リーフレット『M76焼夷弾と熊本空襲』、『空襲下の熊本』

- (1) 第1回熊本大空襲
- (2) 第2回熊本大空襲
- (3) M76落下傘付き500ポンド大型焼夷弾
- (4) 眼下の熊本市街地、熊本空襲の撮影場所の特定

## 5 近代化遺産の光と陰

啓発リーフレット『荒尾二造』、『荒尾二造ウォーキングマップ』

- (1) 東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所の概要
- (2) 現存施設・遺跡・遺構
  - 変電所跡
  - 大型火薬庫
  - 小型火薬庫
  - 検査掛棟建物
  - 工事場建物
  - 廃液路
- (3) 東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所平和資料館

## 6 熊本を映した海兵隊フィルム

- (1) 海兵隊フィルムの概要と撮影部隊
- (2) 熊本県内の撮影
  - 健軍飛行場
  - 三菱熊本航空機製作所
  - 菊池恵楓園
- (3) 撮影フィルムの歴史的意義・価値・撮影意図

## 7 まとめ

[ 質 疑 ]